

発行:医療法人社団 神鋼会 神鋼病院
〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1丁目4-47 電話:078-261-6711(代表) FAX:078-261-6726
発行責任者:病院長 山本正之 編集責任者:神鋼病院広報委員会 委員長 山神和彦

神鋼病院呼吸器センター

— 肺癌の外科的治療について —

□ 2009年手術症例

2009年の呼吸器センター呼吸器外科の総手術数は120例で、そのうち肺悪性腫瘍は55例(46%)でした。

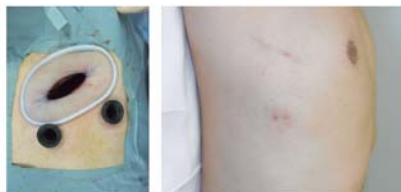
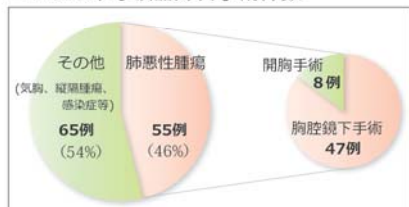
当科では、肺悪性腫瘍の手術は原則胸腔鏡下手術を行っています。側胸部に4~6cmの小切開と1cmのポート孔2つで行っています。肺悪性腫瘍手術55例中、胸腔鏡下手術は47例(85.5%)で、開胸手術は8例(14.5%)でした。

開胸手術は、

- ・ 進行肺癌に対し導入療法を行った4例
- ・ 全摘術2例
- ・ 気管支形成術1例
- ・ 10cm大の巨大腫瘍1例

に行いました。

□ 2009年呼吸器外科手術件数



4~6cmの皮切と1cmのポート孔

肺癌手術を受けられる患者さんの多くは手術前日に入院しますが、低肺機能の患者さんは早めに入院し呼吸リハビリを受けていただいています。胸腔鏡下肺葉切除術では、手術時間は約3時間で、輸血はまず必要ありません。第1病日には離床し、食事もとれます。第3病日前後でドレーンを抜去します。術後在院期間は平均11.3日でした。

□ 肺癌手術療法

肺癌は、病期分類を基本に患者さんと相談の上、治療方針を決定します。当科では胸部レントゲン、CT、PET/CT、頭部MRIにてstagingを行っています。

I期およびII期の肺癌の場合は、手術療法が第一選択になります。癌の大きさや、リンパ節への転移の有無によって異なりますが、基本的には肺葉切除及びリンパ節郭清が標準術式になります。

早期肺癌に対しては、低侵襲手術としての胸腔鏡手術(肋骨を切離せず、小さな創で手術を行うので、術後の創部痛が軽度で回復も早い利点がある)、縮小手術(区域切除など、今までより肺切除量を減らす工夫を行った手術で、呼吸機能の温存が図れる)を積極的に導

入しています。

進行肺癌に対する外科治療の成績は、決して満足できるものではありません。手術だけの治癒率には限界があり、さらなる成績の向上のためには手術以外の治療法を組み合わせた総合的な治療を行うことが重要です。



Daiki Masuya

PROFILE

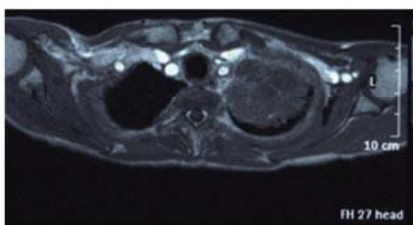
榎屋 大輝 医長

呼吸器センター 呼吸器外科
香川医科大学 平成10年卒

- ・ 日本呼吸器外科学会専門医
- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本呼吸器内視鏡学会
気管支鏡専門医

当科ではIIIA期以上の進行肺癌には集学的治療として、放射線療法と化学療法の併用を行ってから、手術を行うことがあります。かなり進行したがんでも術前の治療が有効で、手術後長年に生存されているケースもあります。

近年、CTの発達によって微小な腫瘍の発見が多くなっています。小型肺野病



MRI:左肺尖部の胸壁に浸潤する腫瘍



治療前X-p



誘導療法後X-p



術後X-p

変は気管支鏡検査では診断がつかないこともあり、癌の可能性が否定できなければ積極的に胸腔鏡を用いた肺生検も行っています。

また、75歳以上の高齢肺癌患者さんでも、身体的状況に応じて適切な外科治療を選択しており、非高齢者に遜色のない治療効果が得られています。高齢の患者さんは肺癌の他に様々な合併症(心臓疾患や糖尿病、慢性気管支炎など)がある場合も多く、当科では総合病院の利点を生かし、他の診療科との連携を図り肺癌の治療を全身的に判断しながら、術後合併症のより少ない外科的治療を心がけています。

□ 当科の取り組み

近年肺癌は増加しており、男性肺癌は死亡者数、死亡率ともに第1位となっています。また、最近10年で喫煙をしない女性の肺癌(腺癌)が増えてきました。肺癌対策は医療の現場のみならず、社会的に見ても大きな課題となっています。

当院の呼吸器外科設立後4年が経過しました。当科では胸腔鏡手術を積極的に行い、術前術後肺理学療法の積極的な導入や、術後のQuality of Lifeを低下させないために、気道再建を含めた機能温存手術や、肺癌の根治度を上げるための誘導療法も積極的に行っています。今後症例を蓄積することで、肺癌の手術成績も出てきます。これからも肺癌診療における外科領域での進歩を学び、医療の現場に貢献出来るようにします。

肺癌の内科的治療について

神鋼病院呼吸器センターでは、肺がんの疑いで初診された患者さんは、画像診断、内視鏡検査、病理の各部門などとの協力のもと、できる限り迅速に診断・病期決定を行います。そして、手術が可能であれば1ヶ月以内に手術を終了し、退院できる状態になることを目標にしております。

しかしながら、肺がんと診断した症例の半分以上(2009年は126例中76例で約60%)は手術適応にならず、内科治療の適応となります。

呼吸器センターではこれらの患者さんの組織型、遺伝子解析の結果、病期、PSや年齢を考へて、ガイドラインに準拠した治療をすすめております。すなわち化学療

法、分子標的治療薬、放射線療法、胸腔ドレナージや気管支ステントを含む対症療法、緩和治療などを病棟看護師、薬剤師、放射線治療科、緩和ケアチームなどと協力しながら行っています。特に化学療法は外来化学療法室に助けを借り、できる限り、外来で行うようにしております。

このように私達、呼吸器センターでは肺がんの疑いのある患者さんの診断から、終末期の患者さんのケアまで、どのようなケースでも地域の先生方のニーズに応えられるように最大限の努力を行っております。おかげさまで年々ご紹介していただく患者さんは増加しております。今後とも、何卒よろしく御願ひ申し上げます。



Yujiro Suzuki

PROFILE

鈴木 雄二郎 副院長

神鋼病院呼吸器センター長
京都大学 昭和157年卒業

- ・日本内科学会認定医および指導医
- ・日本呼吸器学会専門医および指導医
- ・日本呼吸器内視鏡学会指導医
および気管支鏡専門医

Shinko Infomation

膠原病リウマチセンター 4月より本格稼働します

昨年12月の開設から4ヶ月が経ちました。
専門外来診療を週3日行っておりましたが、
4月より外来診療を月曜日から金曜日まで毎日
行うとともに、入院診療についても順次受入れ
を行い、膠原病リウマチセンターを本稼働する
こととなりました。
膠原病・リウマチの診療でお困りの場合や、重
症な場合の診断治療などの相談もお受けいたし
ますので、ご紹介をよろしくお願い致します。



Shunichi Kumagai

PROFILE

熊谷 俊一 センター長

神鋼病院 膠原病リウマチセンター長
日本リウマチ学会専門医
日本アレルギー専門医
日本内科学会認定医

■ 外来診療担当

	月	火	水	木	金
AM	熊谷 俊一	古形 芳則	辻 剛	熊谷 俊一	辻 剛
	千藤 荘	—	—	—	笠木 伸平 (第2・4・5週)
PM	熊谷 俊一 (予約のみ)	—	千藤 荘 (予約のみ)	—	辻 剛 (予約のみ)
	—	—	—	—	三枝 淳

神鋼病院・胸部画像診断勉強会

日 時：平成22年4月3日（土）16：00～19：00

会 場：神鋼病院3階 講堂（神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL 078-261-6711）

■ 特別講演 「研修医のための胸部画像検討4」

座長：神鋼病院副院長 鈴木 雄二郎

福井大学 名誉教授・特任教授 伊藤 春海 先生

◆ 軽食・お飲み物をご用意しております。

神戸地区呼吸器疾患地域連携講演会 神戸市薬剤師会東灘地区生涯教育研修会

日 時：平成22年4月17日（土）17：00～19：00

会 場：兵庫県国際交流会館 多目的ホール（神戸市中央区脇浜町1-2-8 TEL 078-230-7505）

※会場が異なりますのでご注意ください

■ ご報告 「呼吸器センターにおける最近の症例」

神鋼病院呼吸器センター

■ 特別講演 「肺癌診療の実際 呼吸器外科の立場から」

座長：香川大学医学部付属病院 横見瀬 裕保 先生

横浜市立大学附属市民総合医療センター 呼吸器病センター外科

教授・担当部長 乾 健二 先生

◆ 軽食・お飲み物をご用意しております。

◆ 日医生涯教育講座認定5単位 ◆ 神戸薬科大学エクステンションセンター受講シール1単位

放射線センターからのお知らせ

MR Iを更新し、4月中旬から2台の最新機種体制となります

放射線センター長 本山 新

平素は、神鋼病院放射線センターをご利用いただき、まことにありがとうございます。

当院MR Iは4月中旬から本格的な2台体制が始まります。初代MR Iを最新機種に更新し、2代目MR Iもアップグレードし、2台ともに最新機種(Achieva1.5T Aシリーズ;PHILIPS)となります。2台のMR Iいずれで撮っても同じ画質の撮像が可能です。これで待ち日数の短縮もはかれるものと期待しております。新MR Iは旧MR Iに比べ、より短時間に、より高画質な撮像が可能です。体動を静止できない場合や息止めが十分できない場合の動きの補正も可能で、MRCPや腹部臓器の画質向上が期待されます。造影剤を用いないMR Angio(非造影血管造影)もより短時間に広範囲の撮像が可能となります。

撮像の条件設定は、一例ごとに放射線診断医(3名)とMR I担当放射線技師が協議しながら決定しております。装置の更新だけでなく、安全に的確な検査を継続して行えるよう、さらに努力いたす所存です。

なお、平日夜間帯(17時~20時)、土曜日・日曜日も、今までどおりMR I検査を行ってまいります(この間の撮像部位は今までどおり、頭部、脊椎、股・膝関節、婦人科骨盤に限定させていただきます)。また更新の工事期間中、特にMR I検査の休止や制限はございません。

今後とも神鋼病院放射線センターならびに新しくなったMR Iをご活用いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

- 連絡先：地域医療連携室
- 予約受付時間：平日 8時30分~19時
土曜日 8時30分~12時
- 電話：078-261-6739 (直通)
FAX：078-261-6728 (直通)

※イメージ図です

地域医療連携室(地域医療連携窓口)のご案内

■ 受付時間

- 平日：8時30分~19時00分
- 土曜日：8時30分~12時00分

■ 連絡先

- 連絡先
Tel. 078-261-6739 (直通)
Fax. 078-261-6728 (直通)
- 夜間・休日連絡先
Tel. 078-261-6711 (代表)

■ 電話・FAXにて地域医療連携室にご連絡ください。
迅速に対応させていただきます。

■ 平日は19:00まで、土曜日は8:30~12:00に
時間外の予約受付を行っております。

■ 当日受診の場合も地域医療連携室まで、ご連絡下さい。

■ 時間外・休日の場合は当院の代表電話にお問い合わせください。
内科系・外科系の当直医がご返答いたします。

■ 神鋼病院理念

地域医療に貢献し、
信頼される病院をつくります。

■ 基本方針

1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
2. 個人の尊厳と生活の質を重視した全人的医療を実践します。
3. 常に学・技の研鑽に励み、よりよい医療を提供します。